

海外現地法人の動向（要旨）

＜海外現地法人四半期（平成24年1～3月期）調査＞

～ 平成24年5月実施 ～

平成24年6月26日

経 済 産 業 省
大臣官房調査統計G

1. 実績

(1) 売上高実績

○売上高実績（平成 24 年 1-3 月期、ドルベース）は、2594 億ドル。前年同期比^(*)は 5.6%増と 10 期連続のプラス。主要 4 業種^(*)は、輸送機械が同 12.8%増と 3 期連続のプラス、はん用等機械が同 6.6%増、化学が同 0.3%増とともに 2 期ぶりにプラス、電気機械が同▲7.8%減と 2 期連続のマイナス。北米は同 12.1%増と 3 期連続のプラス、欧州は同 1.0%増と 9 期連続のプラス、アジアは同 3.8%増と 2 期ぶりのプラス。

○売上高実績（平成 24 年 1-3 月期、円ベース）は、20.6 兆円。前年同期比は 1.7%増と 4 期ぶりにプラス。

① 北米 <売上高シェア 28.9%>

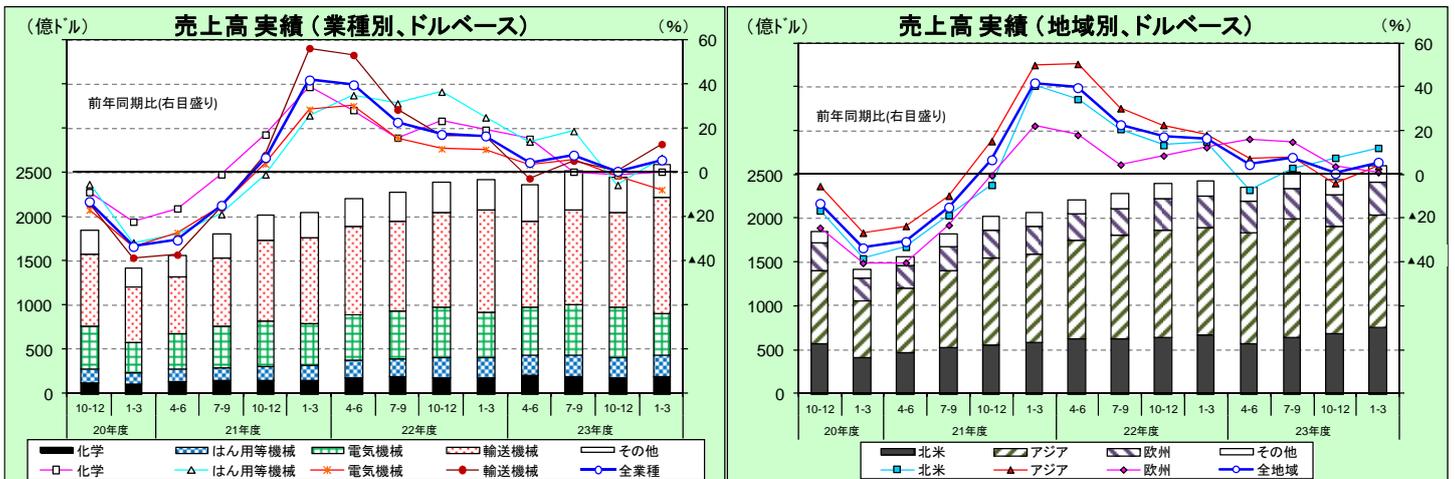
売上高実績（ドルベース）は、750 億ドル。前年同期比は 12.1%増と 3 期連続のプラス。主要 4 業種は、輸送機械が同 18.8%増と 2 期連続のプラス、はん用等機械が同 14.2%増と 9 期連続のプラス、電気機械は同▲9.3%減と 2 期連続のマイナス、化学が同▲0.2%減と 9 期ぶりのマイナス。

② アジア <売上高シェア 49.8%>

売上高実績（ドルベース）は、1292 億ドル。前年同期比は 3.8%増と 2 期ぶりのプラス。主要 4 業種は、輸送機械が同 11.2%増、はん用等機械が同 5.8%増といずれも 2 期ぶりのプラス、化学が同 3.6%増と 3 期ぶりのプラス、電気機械が同▲7.0%減と 2 期連続のマイナス。中国^(*)（同 7.7%増）は 10 期連続のプラス、NIEs3^(*)（同 3.7%増）は 2 期ぶりのプラス、ASEAN4^(*)（同▲2.6%減）は 2 期連続のマイナス。

③ 欧州 <売上高シェア 14.1%>

売上高実績（ドルベース）は、365 億ドル。前年同期比は 1.0%増と 9 期連続のプラス。主要 4 業種は、輸送機械が同 12.5%増と 9 期連続のプラス、電気機械が同▲11.1%減と 3 期連続のマイナス、化学が同▲2.9%減、はん用等機械が同▲1.2%減といずれも 2 期連続のマイナス。



* 前年同期比は、前年度から継続して調査対象となっている現地法人（新規設立企業を含む）のみの集計値から算出しており、実績値から求めた数値とは異なります。実績の詳細は、報告書「海外現地法人の動向」P. 16～P. 27、「統計表」P. 1～P. 20をご覧ください。

*1 主要4業種：全12業種中、化学、はん用等機械（はん用・生産用・業務用機械）、電気機械、輸送機械の4業種

*2～*4 ASEAN4:インドネシア、タイ、フィリピン、マレーシア NIEs3:シンガポール、大韓民国、台湾 中国:香港含む

(2) 設備投資額(有形固定資産(土地を除く)の当期取得額)実績

- 設備投資額実績（平成 24 年 1-3 月期、ドルベース）は、104.2 億ドル。前年同期比は 27.0%増と 8 期連続のプラス。主要 4 業種は、はん用等機械が同 60.4%増、輸送機械が同 44.9%増といずれも 7 期連続のプラス、化学が同 32.1%増と 4 期連続のプラス、電気機械が同 16.8%増と 3 期ぶりのプラス。地域別にみると、北米、アジアはともにプラス、欧州はマイナス。
- 設備投資額実績（平成 24 年 1-3 月期、円ベース）は、8258 億円。前年同期比は 22.4%増と 8 期連続のプラス。

① 北米 <設備投資額シェア 20.1%>

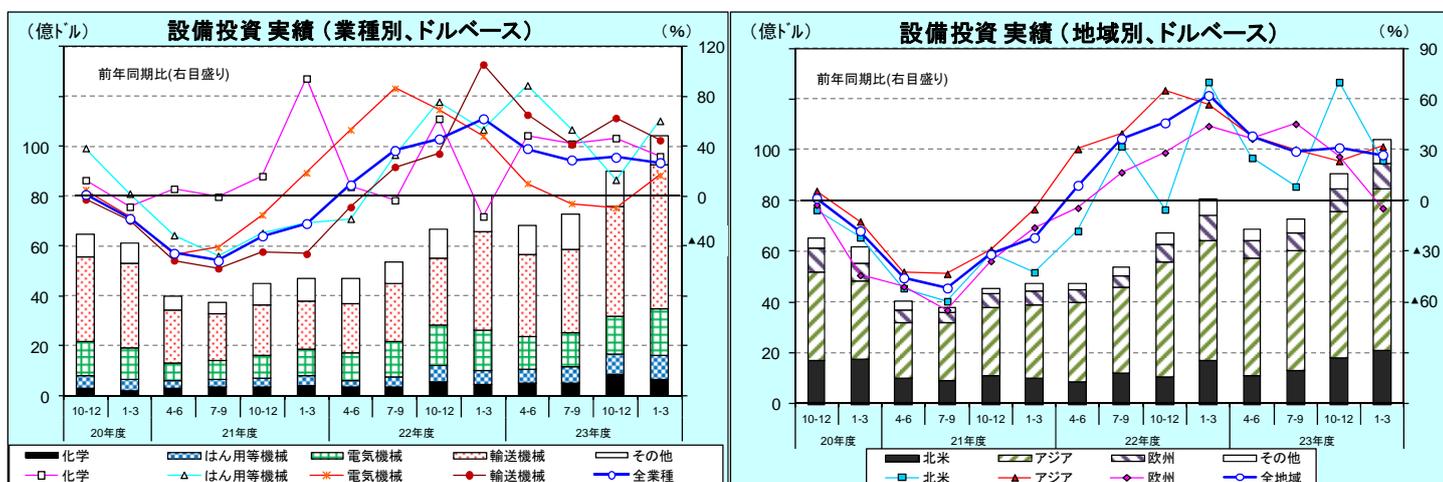
設備投資額実績（ドルベース）は、20.9 億ドル。前年同期比は 23.8%増と 5 期連続のプラス。主要 4 業種は、化学が同 98.2%増、はん用等機械が同 17.7%増といずれも 6 期連続のプラス、輸送機械が同 23.1%増と 2 期連続のプラス、電気機械が同▲7.5%減と 8 期ぶりのマイナス。

② アジア <設備投資額シェア 61.2%>

設備投資額実績（ドルベース）は、63.8 億ドル。前年同期比は 31.9%増と 8 期連続のプラス。主要 4 業種は、はん用等機械が同 76.4%増と 7 期連続のプラス、輸送機械が同 62.3%増と 8 期連続のプラス、電気機械は同 19.3%増と 3 期ぶりのプラス、化学が同 19.1%増と 4 期連続のプラス。ASEAN4（同 56.6%増）、NIEs3（同 11.1%増）、中国（同 0.9%増）はプラス。

③ 欧州 <設備投資額シェア 9.2%>

設備投資額実績（ドルベース）は、9.6 億ドル。前年同期比は▲4.5%減と 7 期ぶりのマイナス。主要 4 業種は、はん用等機械が同 32.1%増と 2 期ぶりにプラス、輸送機械が同 27.1%増と 7 期連続のプラス、化学が同 15.8%増と 4 期連続のプラス、電気機械が同▲18.3%減と 3 期連続のマイナス。



(3) 従業者数実績

○従業者数実績（平成 24 年 3 月末）は、366.5 万人。前年同期比は 1.2%増と 9 期連続のプラス。主要 4 業種は、輸送機械が同 10.2%増と 9 期連続のプラス、はん用等機械が同 3.3%増と 10 期連続のプラス、化学が同 2.0%増と 13 期連続のプラスとなったほか、電気機械が同▲8.5%減と 2 期ぶりのマイナス。地域別にみると北米、欧州はプラス、アジアはマイナス。

① 北米 <従業者数シェア 11.8%>

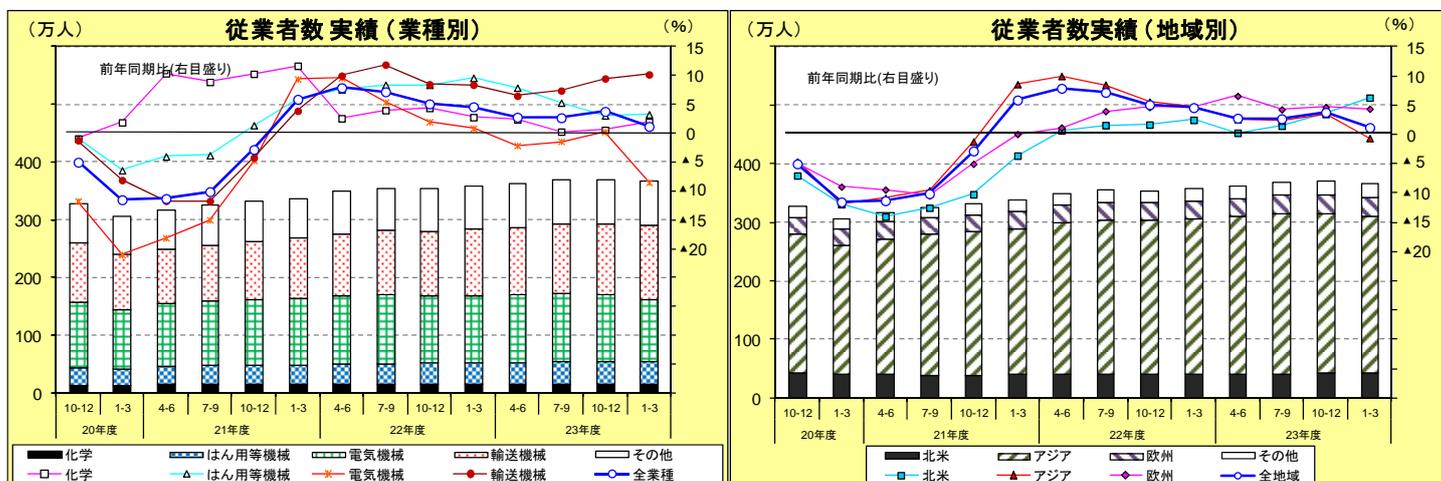
従業者数実績は、43.4 万人。前年同期比は 6.3%増と 8 期連続のプラス。主要 4 業種は、輸送機械が同 10.5%増と 3 期連続のプラス、はん用等機械が同 7.5%増と 6 期連続のプラス、化学が同 2.6%増と 2 期連続のプラス、電気機械が同▲3.4%減と 4 期ぶりのマイナス。

② アジア <従業者数シェア 73.0%>

従業者数実績は、267.6 万人。前年同期比は▲0.6%減と 9 期ぶりのマイナス。主要 4 業種は、輸送機械が同 10.6%増、はん用等機械が同 2.4%増といずれも 10 期連続のプラス、化学が同 3.1%増と 13 期連続のプラス、電気機械が同▲9.3%減と 2 期ぶりのマイナス。ASEAN4（同▲2.0%減）、NIEs3（同▲2.4%減）、中国（同▲3.3%減）はマイナス。

③ 欧州 <従業者数シェア 8.8%>

従業者数実績は、32.4 万人。前年同期比は 4.4%増と 9 期連続のプラス。主要 4 業種は、輸送機械が同 8.5%増と 9 期連続のプラス、はん用等機械が同 7.2%増と 7 期連続のプラス、電気機械が同▲6.4%減と 3 期連続のマイナス、化学が同▲1.4%減と 5 期連続のマイナス。



<参考> 海外経済

世界の景気は、全体として弱い回復となっている。先行きについては、弱い回復が続くと見込まれる。ただし、ヨーロッパ地域の一部の国々における財政の先行き不安の高まりを背景とした金融面への影響等により、景気が下振れするリスクがある。また、原油高の影響に留意する必要がある。

アメリカでは、景気は緩やかに回復している。先行きについては、緩やかな回復が続くと見込まれる。ただし、高い失業率の継続や住宅価格の下落等により、景気が下振れするリスクがある。また、財政緊縮の影響に留意する必要がある。

アジア地域については、中国では、景気は内需を中心に拡大しているが、拡大テンポが緩やかになっている。先行きについては、テンポは緩やかになるものの拡大傾向が続くと見込まれる。ただし、輸出、不動産価格や物価の動向に留意する必要がある。インドでは、景気の拡大テンポは鈍化している。先行きについては、拡大テンポの鈍化が続くと見込まれる。また、物価上昇によるリスクに留意する必要がある。その他アジア地域では、景気は一部に持ち直しの動きもみられるが、足踏み状態となっている。先行きについては、当面、足踏み状態が続くと見込まれる。また、輸出の動向に留意する必要がある。

ヨーロッパ地域では、景気は足踏み状態にあり、一部に弱い動きもみられる。ドイツではこのところ持ち直しの動きがみられる。ヨーロッパ地域の先行きについては、当面、弱めの動きになるものと見込まれる。また、一部の国々における財政の先行き不安の高まりを背景とした金融面への影響により、景気が低迷するリスクがある。さらに、各国の財政緊縮による影響や、高い失業率が継続すること等に留意する必要がある。

（「月例経済報告」(平成 24 年 5 月)より抜粋）

2. 見通し

(1) 売上高見通し

- 現状判断 DI (平成 24 年 4-6 月期) は、20.1 と 13 期連続プラス水準。前年同期差 (平成 23 年 4-6 月期の現状判断 DI に比べ) は、19.6 ポイントと 2 期連続のプラス。主要 4 業種は、化学、はん用等機械、電気機械、輸送機械のすべてがプラス水準。前年同期差も、すべてプラス。地域別にみても、アジア、北米はプラス水準、欧州は横ばい。前年同期差は、欧州のみマイナス。
- 先行き DI (平成 24 年 7-9 月期) は、20.5 と 13 期連続のプラス水準。前年同期差は、5.1 ポイントと 4 期連続のプラス。主要 4 業種は、ともにプラス水準。前年同期差は、はん用等機械のみマイナス。

① 北米

現状判断 DI は、13.7 と 4 期連続のプラス水準。前年同期差は、28.0 ポイントのプラス。主要 4 業種は、すべてプラス水準。前年同期差は、電気機械が 0.0 の横ばいの他はプラス。

先行き DI は、4.7 と 13 期連続のプラス水準。前年同期差は、▲1.3 ポイントのマイナス。主要 4 業種は、輸送機械のみマイナス。前年同期差は、化学がマイナス、電気機械が 0.0 の横ばい。

② アジア

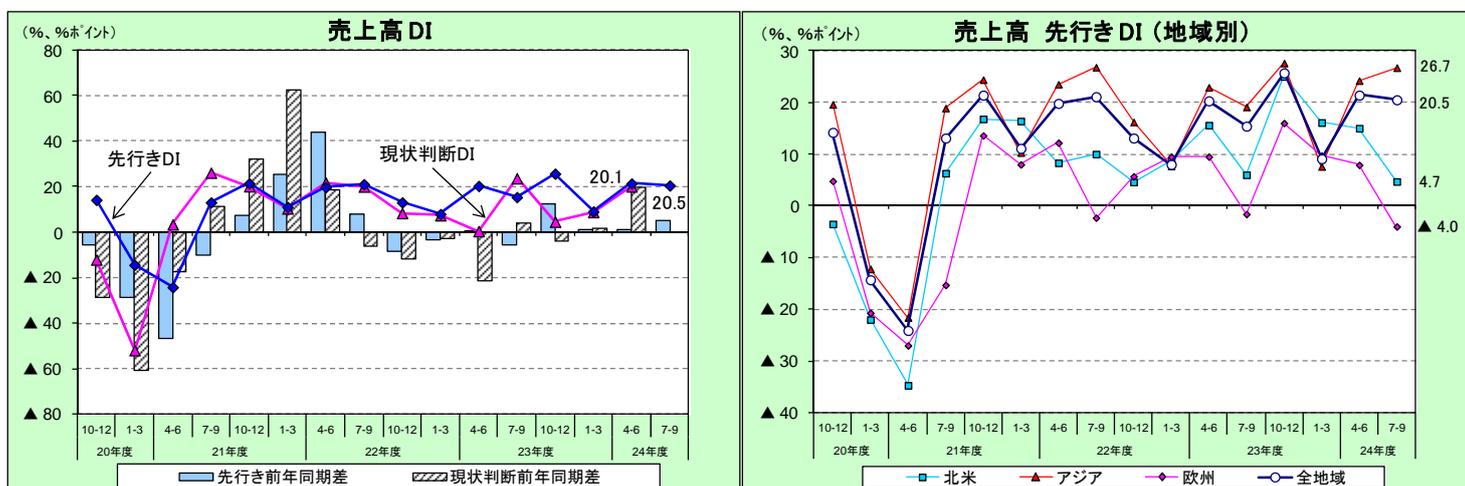
現状判断 DI は、23.9 と 13 期連続のプラス水準。前年同期差は、20.7 ポイントのプラス。主要 4 業種はすべてプラス水準。ASEAN4 (27.1) は 2 期連続のプラス、中国 (22.2) は 2 期ぶりにプラスに転じ、NIEs3 (18.5) は引き続きプラス水準で推移。

先行き DI は、26.7 と 13 期連続のプラス水準。前年同期差は、7.6 ポイントのプラス。主要 4 業種は、はん用等機械のみマイナス水準。中国 (27.4)、ASEAN4 (26.9)、NIEs3 (17.5) はプラス水準。

③ 欧州

現状判断 DI は、0.0 と横ばい。前年同期差は、▲0.4 ポイントのマイナス。主要 4 業種は、電気機械、輸送機械がマイナス。

先行き DI は、▲4.0 と 4 期ぶりにマイナス水準。前年同期差は、▲2.4 ポイントのマイナス。主要 4 業種は、輸送機械、はん用等機械がマイナス水準。前年同期差は、電気機械、はん用等機械がマイナス。



<参考>DIの詳細は、報告書「海外現地法人の動向」P. 4～P. 15、「統計表」P. 21～P. 41 をご覧ください。

(2) 設備投資額(有形固定資産(土地を除く)の当期取得額)見通し

○現状判断 DI は、17.1 と 12 期連続のプラス水準。前年同期差は、5.2 ポイントのプラス。主要 4 業種は、すべてプラス水準で推移。前年同期差も、すべてプラス。また、すべての地域でプラス水準。

○先行き DI は、13.6 と 12 期連続のプラス水準。前年同期差は、3.5 ポイントのプラス。主要 4 業種は、すべてプラス水準。前年同期差は、化学のみマイナス。すべての地域がプラス水準で推移。

① 北米

現状判断 DI は、15.5 と 12 期連続のプラス水準。前年同期差は、6.7 ポイントと 4 期連続のプラス。主要 4 業種は、すべてプラス水準で推移。

先行き DI は、8.0 と 10 期連続のプラス水準。前年同期差は、0.4 ポイントのプラス。主要 4 業種では、すべてプラス水準。前年同期差は、化学のみマイナス。

② アジア

現状判断 DI は、19.3 と 12 期連続のプラス水準。前年同期差は、5.3 ポイントのプラス。主要 4 業種は、すべてプラス水準で推移。ASEAN4 (21.1)、中国 (19.6)、NIEs3 (9.3) はプラス水準。

先行き DI は、16.3 と 13 期連続のプラス水準。前年同期差は、4.5 ポイントのプラス。主要 4 業種は、すべてプラス水準。前年同期差もすべてプラス。中国 (17.3)、NIEs3 (16.1)、ASEAN4 (15.6) はプラス水準。

③ 欧州

現状判断 DI は、7.2 と 12 期連続のプラス水準。前年同期差は、4.5 ポイントのプラス。主要 4 業種は、すべてプラス水準。前年同期差は、はん用等機械のみマイナス。

先行き DI は、6.1 と 11 期連続のプラス水準。前年同期差は、1.9 ポイントのプラス。主要 4 業種は、電気機械のみマイナス水準、前年同期差は、輸送機械のみプラス。

